

職場復帰支援におけるキャリア再形成 に関する調査研究

- 齋藤 友美枝（障害者職業総合センター 主任研究員）
浅賀 英彦・知名 青子・宮澤 史穂・大谷 真司
（障害者職業総合センター）

1 研究目的

- 精神疾患、発達障害、高次脳機能障害による休職を経て復職した方の「キャリア再形成」を調査

※「キャリア再形成」とは、復帰過程における「仕事観・やりがい・人生・興味といった自分の価値観の振り返り」であり、ここでは「キャリアの見つめ直し」と表現する

2 文献調査

著者・発行年	タイトル	目的（明らかにすること）
川崎舞子 (2012)	うつによる休業者が体験した援助専門家との関わりに関する質的研究	<ul style="list-style-type: none"> ・休業者が職場復帰支援にどのようにつながり、援助専門家とどのような関わりを持ったか ・それらの関わりを休業者自身がどのように評価したか
川崎舞子 (2015)	うつ病患者の職場復帰プロセスに関する検討ー休業時からリワークプログラム参加への準備期に焦点を当ててー	休業者がどのように職場復帰準備を始める段階に移行していくのか
野田実希 (2019)	退職者の視点から職場復帰過程における心理的支援を考えるーメンタルヘルスと職業的自己に関する文献検討ー	退職した職業人の内的体験に関する研究を概観し、当事者の心理的テーマと心理的支援における課題を見出す
村上詩歩、奇恵英 (2021)	メンタルヘルス不調による退職者の「心理的復職」の過程	当事者の視点からのリワーク活動の実際と評価、ソーシャル・サポートの実際

本研究は

①当事者、キャリアにかかわる様々な支援機関、企業にそれぞれの立場からの受け止め方 ②気分障害、発達障害者における二次障害、高次脳機能障害者を対象とする

→支援を実施する側と利用者との一致や齟齬なども追う

3 調査方法

1. 支援機関に対するアンケート調査
2. 支援機関に対するヒアリング調査
3. 企業に対する調査
4. 復職した方に対するインタビュー

※本発表では支援機関に対するアンケート調査結果の概要を報告する

4 支援機関に対するアンケート調査

1. 調査対象

- ① リワーク支援を実施している医療機関
- ② 地域センター（多摩支所を含む）

2. 調査項目

- ① 利用者の「キャリアの見つめ直し」に何らかの影響を与えたと思われた支援とその具体例
- ② 支援以外で利用者の「キャリアの見つめ直し」に何らかの影響を与えたと思われた事柄の例

5 医療機関アンケート調査

1. 目的

復職支援の実態と休職を経て職場復帰された方々の復職過程における「キャリアの見つめ直し」に関して把握する

2. 調査方法

一般社団法人日本うつ病リワーク協会に所属している医療機関198機関の職場復帰支援担当者あてに依頼文書を郵送。webアンケートフォームで回答を依頼。

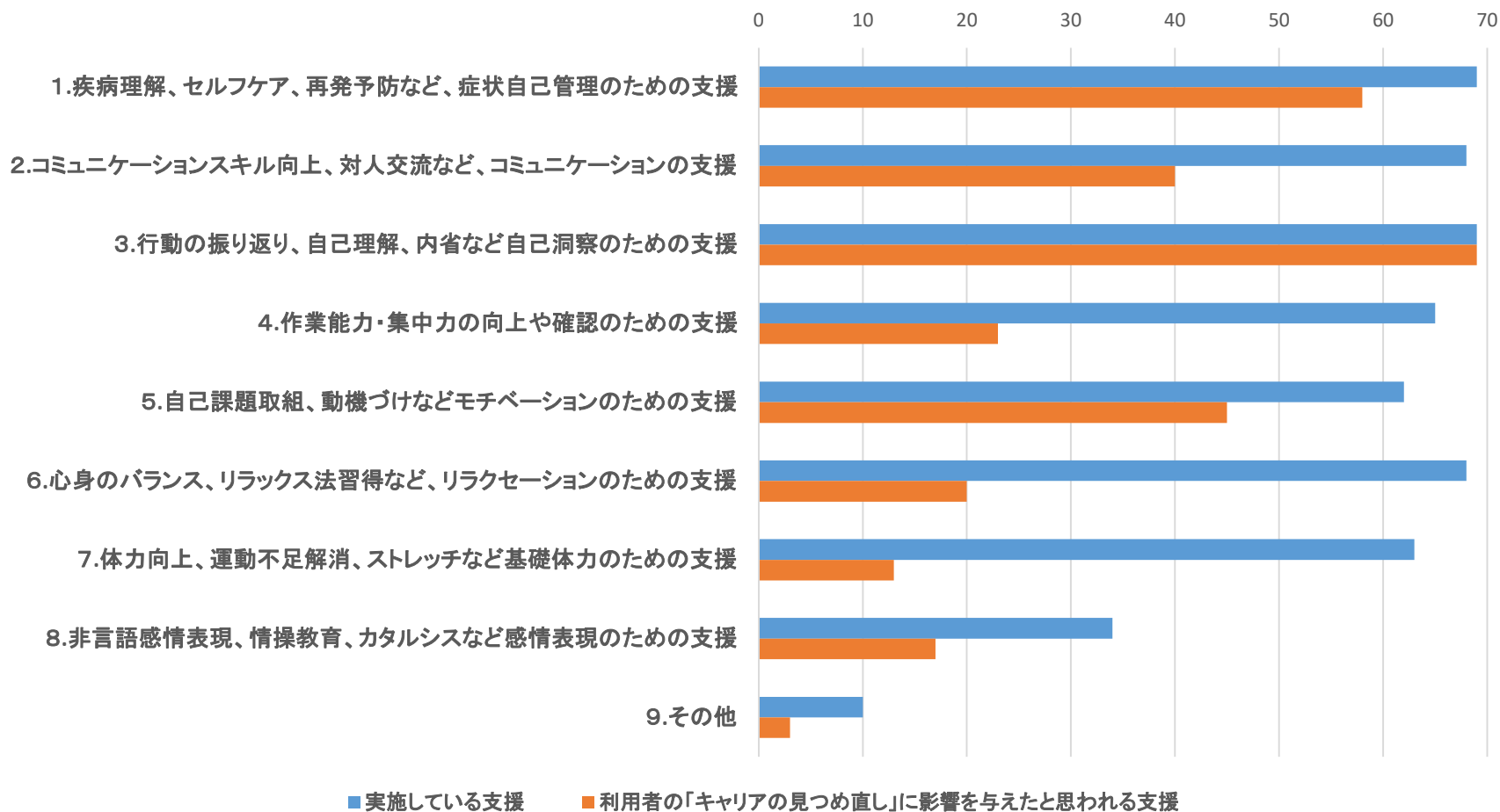
3. 実施時期

2023年9月中旬から10月中旬

6 医療機関アンケート結果

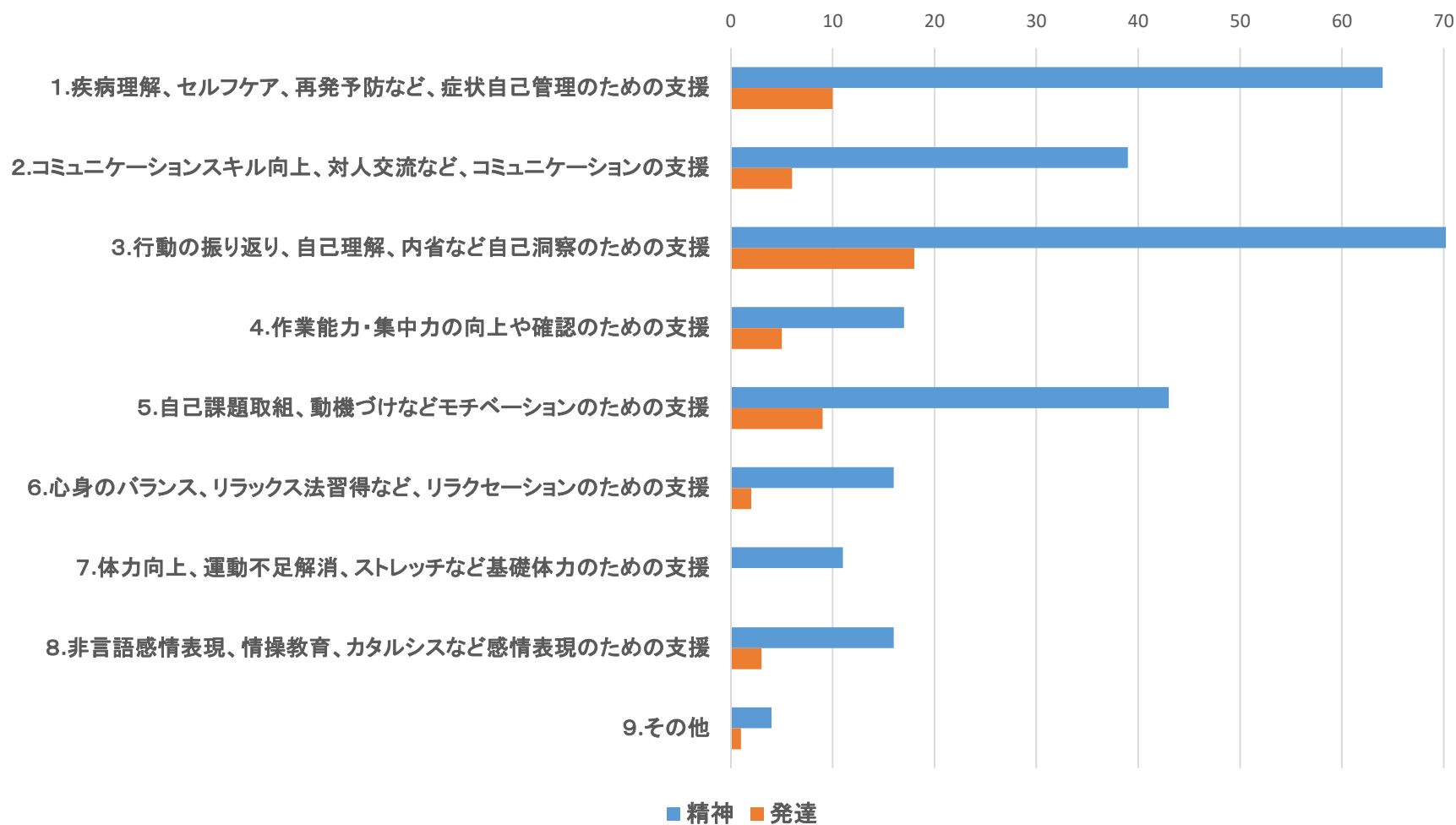
・回答数：69（回答率34.8%）

実施している支援及び利用者の「キャリアの見つめ直し」に影響を与えたと思われる支援



6 医療機関アンケート結果

具体例に影響を与えたと思われる支援



6 医療機関アンケート結果

- 【具体例の一部】
- 仕事中心の生活から、余暇や私生活、家族を中心にした職業生活を考えたい
- これまでの人生を振り返り「今回の休職は、自分の周囲にはこんなに自分を助けてくれる人がいる事、大切な人々が支えてくれているという事、を教えてくれた」と発言していた
- 【事柄の一部】
- 利用者同士の交流、主治医、スタッフ、職場からの話、家族との関係性
- ボランティアや地域貢献

7 地域センターアンケート調査

1. 目的

休職を経て職場復帰された方々の復帰過程
「キャリアの見つめ直し」に関して把握する

2. 調査方法

地域センター(多摩支所を含む)48所に
desknet's NEOアンケート機能で回答を依頼

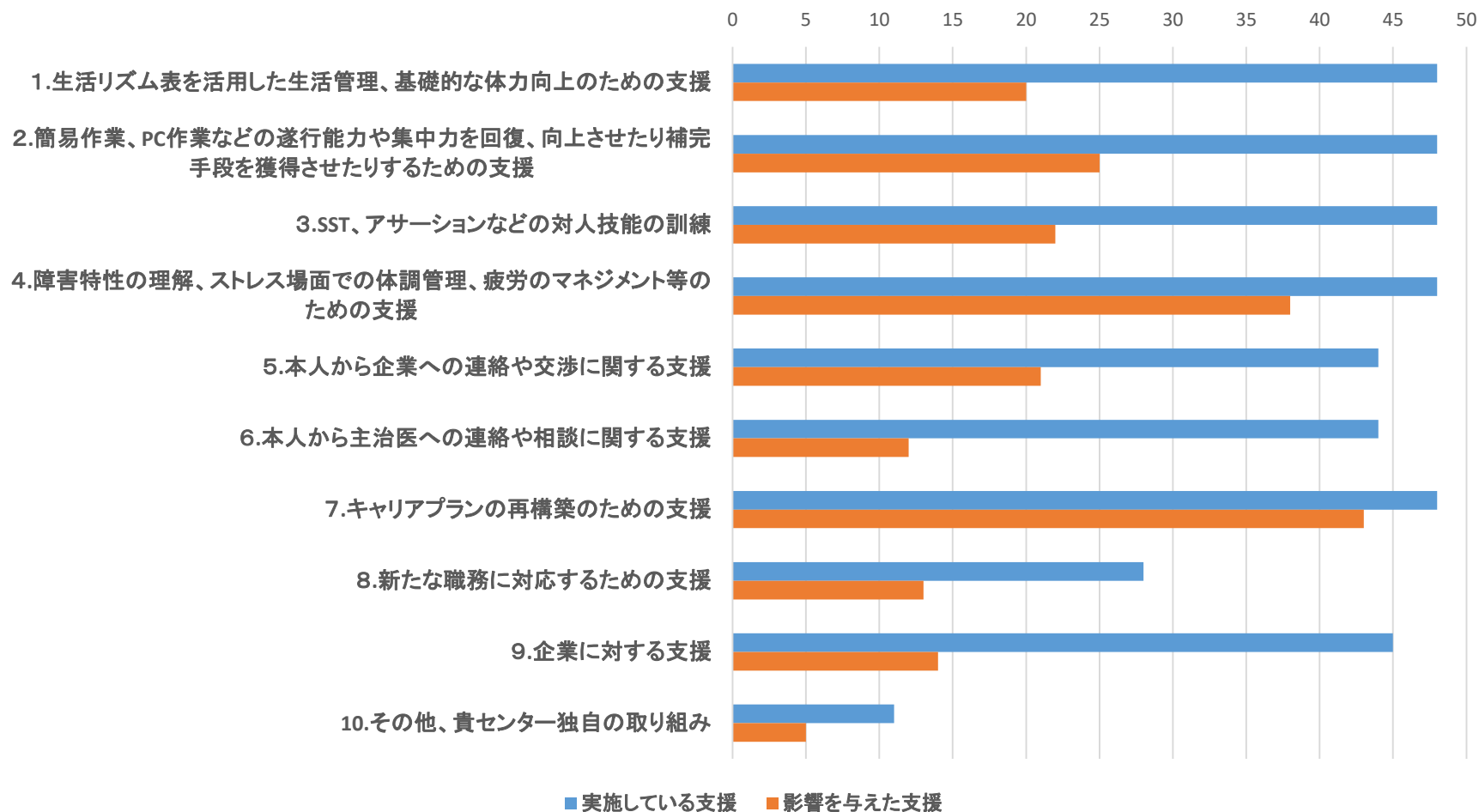
3. 実施時期

2023年9月上旬から10月中旬

8 地域センターアンケート結果

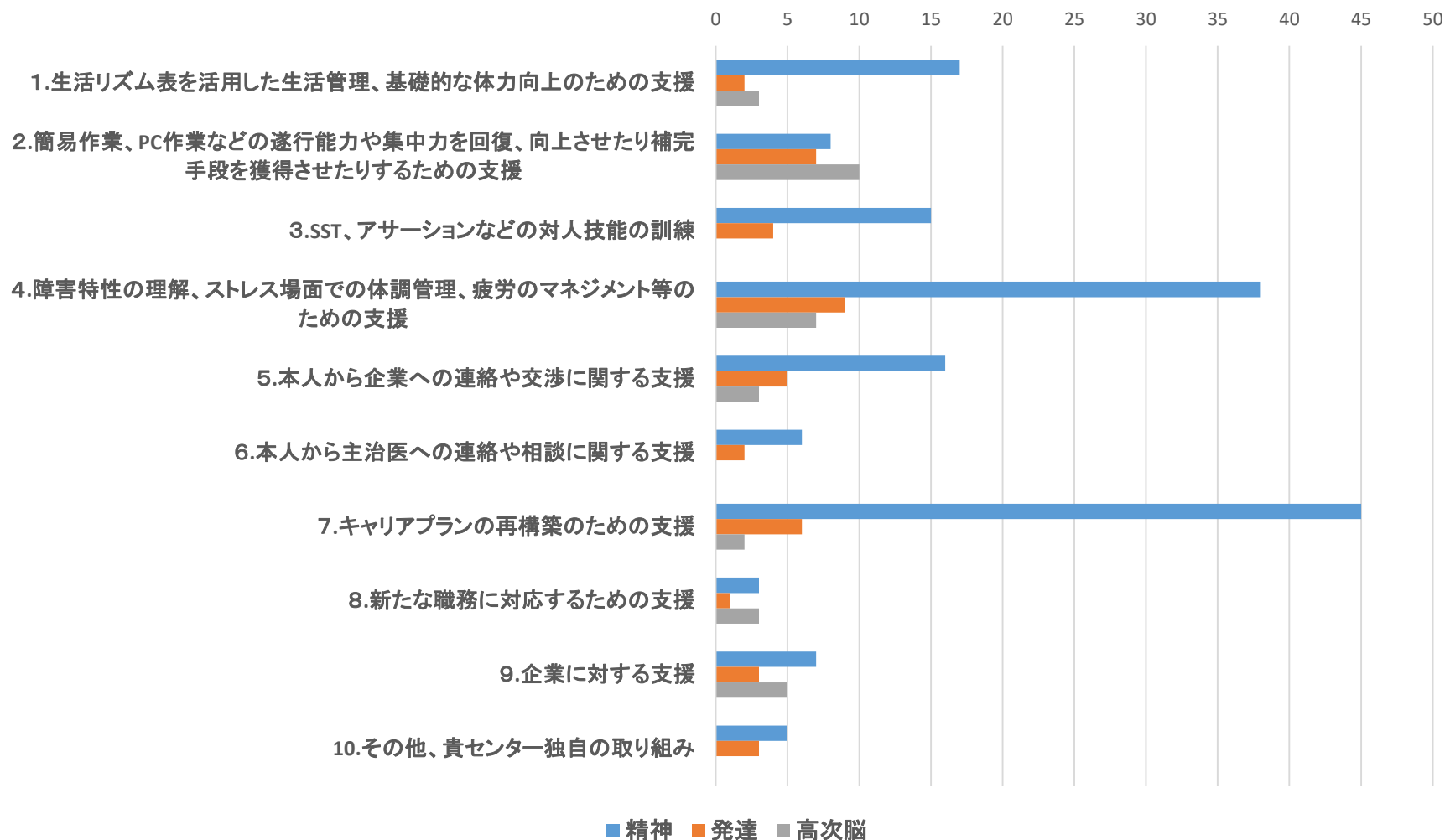
・回答数：48（回答率100%）

実施している支援及び利用者の「キャリアの見つめ直し」に影響を与えたと思われる支援



8 地域センターアンケート結果

具体例に影響を与えたと思われる支援



8 地域センターアンケート結果

【具体例の一部】

- 今まで仕事中心の生活を送ってきたが、これからは家庭に割く時間を増やし、家族を支える生活がしたい
- 自分の専門知識を生かした社会貢献を実感できる生き方をしたい
- 職場でうまくいかずに人を信じられなくなっていたが、もう一度人を信じてもいいのかな、と発言があった

【事柄の一部】

- 利用者間の意見交換、家族、友人、主治医、上司、同僚、支援スタッフ等とのコミュニケーション
- 読書やインターネット

9 今後の進め方

- 協力可能な医療機関、地域センターへのヒアリング
- EAP機関、高次脳機能障害者の支援機関へのヒアリング
- 休職、復職した方に対する働きかけや配慮などについての企業への調査
- 企業等の働きかけや配慮についての利用者インタビュー